

実践例① 第3学年 国語科

1 単元 段落とその中心をとらえて読み、かんそうをつたえ合おう
 (教材名「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」「全体と中心」光村図書3年上)

2 目標

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○ 段落の役割について理解することができる。 ○ 全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。	目的を意識して、中心となる語や文を見つけようとしている。

3 指導計画 (全8時間)

過程	主な学習活動
見 つ か す	1 単元の目標を確認し、学習計画を立てる。
	2 「問い」と「答え」に着目して、「言葉で遊ぼう」の各段落の内容を読み、「初め」「中」「終わり」の文章構成を知る。
深 調 め る	3 2つの問いを捉え、「こまを楽しむ」を読み「初め」「中」「終わり」の文章構成を確認する。
	4 「中」を「答え」に着目して読み、中心となる言葉や文を確かめ、整理する。
	5 「終わり」は、「中」をどのようにまとめているか考える。
	6 6つのこまの中から、いちばん遊んでみたいこまを選び、理由と合わせてワークシートにまとめる。
ま と め る	7 いちばん遊んでみたいこまについて交流し、友達の感想との共通点や相違点など、考えたことをまとめる。
	8 「全体と中心」を読み、文章全体や段落の中心を捉えるよさを整理する。
	9 単元の学習を振り返る。

4 本校の研究テーマとの関連 ※ _____下線部は、本単元の重点

(1) 研究テーマ「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし高め合う子どもの育成
 ～自己肯定感を高める取組を通して～」

(2) 研究の視点

視点イ②交流活動の工夫	視点ア③振り返り
調べる段階で、自力解決の後、グループで学習に取り組み、自分の考えを説明させるとともに、理由を伝え、考えを補い合えるようにする。また、考えた理由が様々あることに気付かせる。 まとめる段階では、「終わり」の段階に何が書かれているか、これまで学習してきたことを生かして発表することで、児童の言葉でまとめ、考えを深められるようにする。	振り返り段階では、振り返りカードに「他者理解」の視点で書くことを伝えることで、他者意識をさらに深められるようにする。

5 実際 (5/8)

(1) 目標

「終わり」と、「初め」や「中」との段落相互の関係に着目して、文章全体の構成を整理して捉えることができる。 **【思考力・判断力・表現力等】**

(2) 自己肯定感を高める「他者のよさに気づき、互いに認める」手立て

視点イ②交流活動の工夫	視点ア③振り返り
① ワークシートに自分の考えを書くことで、交流の際に自分の考えを発言しやすいようにする。 ① 自分が理由をもとに交流することで、多角的に文章を読み取れるようにする。 ① グループの考えを発表させることで、自分のグループの考えと比較させながら考えを深められるようにする。 ① グループの意見をもとに確認することで、児童の考えが生かされていることを実感できるようにする。 ① 児童の意見を引き出し、まとめることで、児童自身が学びを実感できるようにする。	② 振り返りで、他者との交流の視点を与えることで、他者理解にもつなげるようにする。

(3) 本時の流れ

1 前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてを捉える。

T: 前の時間にどんなことを学習しましたか。
C: 「中」のところを読みました。
C: どんなこまがあるか、学習しました。
C: どんな楽しみ方があるか、学習しました。
T: そうでしたね。
今日は、「終わり」に何が書いているか考えましょう。

「終わり」には、どんなことが書かれているのだろうか。



2 「終わり」の文で、どの文が大事かランキングを付ける。

(1) どの文が大事か、自分の考えをもつ。

C: 一文目が大事。「このように」と文をまとめているから。

C: 二文目が大事。ちがうところや同じところ書いているから。

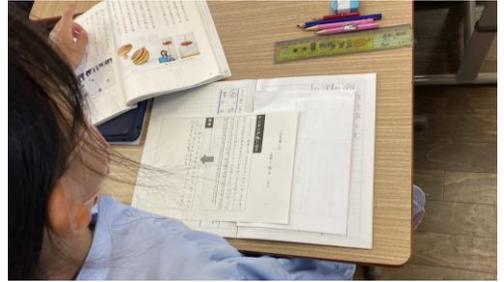
C: 三文目が大事。楽しみ方が書いているから。

(2) 自分が付けたランキングを基に、グループで話し合い、グループで決めたランキングを発表する。

C: 三文目にぎゅっと「こまを楽しむ」をまとめてあると思いました。
C: 三文目です。人々がこれまで工夫を加えてきたから、今、こんなに色々なこまがあると書いた人が伝えたいと思ったと思うからです。
C: 三文目です。回る様子と回し方のことが書いてあるからです。

(3) 「終わり」の三文の書かれている順番の理由を考える。

T: どうして筆者は、この順番で書いているのでしょうか。
C: 知っているものから、知らないものへと順に書いてある。
C: 言葉遊びと同じように、身近なものから書いてある。



3 本時の学習をまとめ、振り返りをする。

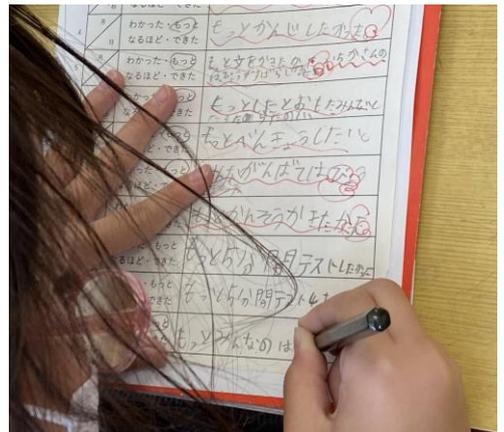
(1) 本時の学習をまとめる。

「終わり」は、「このように」という言葉で「はじめ」や「中」にある全体が、まとめられている。

(2) 本時の振り返りをする。

T: 今日の振り返りをしましょう。
C: ○○さんの「最後の文に筆者の考えがぎゅっとまとまっている」という意見を聞いて、なるほどと思いました。
C: 友達と色々な考えを出して、楽しかったです。もっと勉強したかったです。
C: 自分では、理由が書けなかったけど、友達の考えを聞いて、同じだと思いました。

T: 次の時間は、自分が遊んでみたいこまについてまとめて、「自分の遊んでみたいこまのカード」を作ろう。



6 考察

- 交流活動では、子どもたちが学習の流れを理解し、スムーズに交流することができた。また、友達の見解をよく聞き、認め合う言葉がよく出ていた。今後は、意見をまとめる際に、注目すべき言葉を事前に指導しておく、一人一人が理由を明確に書けたのではないかと考える。
- 振り返りの視点に友達のことを与えたことで、互いを認め合う雰囲気ができ、子どもから「もっと友達の見解を聞きたい。」と出てきて、充実した振り返りができていた。